

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【公表番号】特表2006-519911(P2006-519911A)

【公表日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2006-508794(P2006-508794)

【国際特許分類】

C 08 L 81/06 (2006.01)

C 08 L 27/18 (2006.01)

B 64 C 1/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 81/06

C 08 L 27/18

B 64 C 1/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月9日(2007.3.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1種以上の芳香族スルホンポリマーからなる芳香族スルホンポリマー組成物[組成物(I)]の溶融粘度を低下させる方法であって、1種以上の過フッ素化モノオレフィン及び1種以上のペルフルオロアルキルビニルエーテルから誘導される繰り返し単位を含む1種以上のフルオロカーボンポリマーからなる添加剤[添加剤(A)]を用いることを含む方法。

【請求項2】

-組成物(I)の構成成分を提供する工程、

-添加剤(A)の構成成分を提供する工程、及び

-組成物(I)の構成成分及び添加剤(A)の構成成分からなる芳香族スルホンポリマー組成物[組成物(II)]を調製する工程、

を含む方法であって、組成物(II)の溶融粘度が、組成物(I)の溶融粘度より低い請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記組成物(II)の、498.6秒⁻¹の剪断速度下380において測定された粘度が、600パスカル秒未満である請求項2記載の方法。

【請求項4】

前記組成物(II)の、498.6秒⁻¹の剪断速度下380において測定された粘度が、同一温度及び同一剪断速度下において測定された組成物(I)の粘度の1/2倍未満である請求項2又は3記載の方法。

【請求項5】

前記組成物(II)が、超韌性である請求項2乃至4のいずれかに記載の方法。

【請求項6】

前記組成物(II)の耐火性が、組成物(I)のそれより増大する請求項2乃至5のいずれかに記載の方法。

【請求項7】

前記組成物(II)の火災条件下の放熱量が、組成物(I)のそれより低い請求項6記載の方法。

【請求項8】

前記芳香族スルホンポリマーが、1種以上のポリビフェニルエーテルスルホンを含む請求項2乃至7のいずれかに記載の方法。

【請求項9】

前記芳香族スルホンポリマーの80質量%以上が、ポリビフェニルエーテルスルホンからなる請求項8記載の方法。

【請求項10】

前記芳香族スルホンポリマーが、20質量%より多くの1種以上のビスフェノールAポリスルホンを更に含む請求項8記載の方法。

【請求項11】

前記フルオロカーボンポリマーが、テトラフルオロエチレン及びペルフルオロメチルビニルエーテルから誘導される繰り返し単位を含む請求項2乃至10のいずれかに記載の方法。

【請求項12】

前記組成物(II)が、組成物(II)の総質量に対して10質量%未満のフルオロカーボンポリマーを含む請求項2乃至11のいずれかに記載の方法。

【請求項13】

前記添加剤(A)が更に、ポリエーテルイミド、ポリカーボネート、ポリ(アリールエーテルケトン)、及び液晶ポリマーからなる群から選択されるポリマーを含む請求項2乃至12のいずれかに記載の方法。

【請求項14】

前記組成物(II)が、無機難燃剤を含まないか、芳香族スルホンポリマーの質量に対して2質量部未満の無機難燃剤を含む請求項2乃至13のいずれかに記載の方法。

【請求項15】

前記組成物(II)が、二酸化チタンを含まないか、芳香族スルホンポリマーの質量に対して3質量部未満の二酸化チタンを含む請求項2乃至14のいずれかに記載の方法。

【請求項16】

前記組成物(II)が、芳香族スルホンポリマーの質量に対して3質量部以上の二酸化チタンを含む請求項2乃至14のいずれかに記載の方法。

【請求項17】

1種以上の芳香族スルホンポリマーからなる芳香族スルホンポリマー組成物[組成物(I)]を含む航空機構成部品を製造する方法であって、請求項1乃至16のいずれかに記載の方法を前記芳香族スルホンポリマー組成物に適用することを含む方法。

【請求項18】

その溶融粘度を低下させる必要のある芳香族スルホンポリマー組成物を調製する方法であって、

- 1種以上の芳香族スルホンポリマーを提供する工程、
- 前記芳香族スルホンポリマー組成物の溶融粘度を低下させるのに有効な量の、1種以上の過フッ素化モノオレフィン及び1種以上のペルフルオロアルキルビニルエーテルから誘導される繰り返し単位を含む1種以上のフルオロカーボンポリマーからなる添加剤[添加剤(A)]の構成成分を提供する工程、
- 前記芳香族スルホンポリマー及び添加剤(A)の構成成分を接触する工程、を含む方法。

【請求項19】

- 1種以上の芳香族スルホンポリマー、及び
- 1種以上の過フッ素化モノオレフィン及び1種以上のペルフルオロアルキルビニルエーテルから誘導される繰り返し単位を含む1種以上のフルオロカーボンポリマーを含む添加剤[添加剤(A)]

を含む芳香族スルホンポリマー組成物〔組成物(II)〕であって、その溶融粘度が、添加剤(A)なしの同一組成物〔組成物(I)〕の溶融粘度より低い芳香族スルホンポリマー組成物。

【請求項 2 0】

請求項 1 9 記載の芳香族スルホンポリマー組成物を含む航空機構成部品。

【請求項 2 1】

頭上の乗客サービス設備、窓枠、空気戻しグリル、航空機の壁板、航空機の頭上の貯蔵用ロッカー、航空機の料理用トレイ、航空機のシートバック、航空機室隔壁、及び航空機の管からなる群から選択される請求項 2 0 記載の航空機構成部品。

【請求項 2 2】

請求項 2 0 又は 2 1 記載の航空機構成部品を含む航空機。